



# アトリエ虹便り

## H23年1・2月の主な足跡

### 1月31日(月) 土人形(土びな)絵付け体験

古くから中野市に伝わる、中野の土人形資料館(日本土人形資料館)を見学し、人形への絵付けを体験しました。

まず、どんな人形を選んで絵付けするか? 大きいもの小さいもの、人形の種類もいろいろ。

思い思いに人形を選択した後、簡単な説明を聞いて作業開始。

指先と対話することおよそ2時間。みんな無言で集中しています。「うーん、この色どうでしょうか。眼が難しいなあ。」

皆さんの出来上がった作品を見ると、表情や色合いが豊かで、私の眼には館内で沢山販売されている商品よりずっと魅力的に感じました。



### 2月4日(金) アンティーク絵はがき誘惑展

信州新町美術館で「アンティーク絵はがき誘惑展」の鑑賞、同じ建物内にある化石博物館では恐竜やクジラの化石等を見学しました。

アンティーク絵はがきは100年も前の西洋や日本の古い絵はがきですが、その古い図柄がとても新鮮に感じました。

美術館の資料によると、絵葉書ブームの先駆けはヨーロッパとのこと。日本では、明治38年(1905年)頃、海外の優れた印刷技術が導入されてから盛んになったそうです。

今、アンティーク絵はがきの収集が静かなブームとのこと。今の感覚とは違う昔の美しい図柄を見ていると、私も誘惑されそうです。

化石博物館。長野市内で貝の化石だけでなくクジラや恐竜の骨格、サメや象の歯などの化石まで発掘されていたのは驚きで、遠い遠いご先祖様が暮らしておられた光景を想像しておりました。

およそ500万年前、信州新町は(おそらく長野市街やその周辺も?) 日本海につながる大きな湾であったとか。これから先、この辺はまた海に沈むのでしょうか。科学雑誌によると日本列島は毎年2センチ位の速さで日本海側に動いているとか。いずれ、世界の大陸はひとつになると予測していました。



## “私”をしっかり歩んで行く(1)

私は今、どこにいるか。それは重要なことではない。  
それよりも、どこに向かっているのか。どこに向かおうとしているのか、それが大事。  
だから、今ここから始める。

ありのままに、自分を認めて上げましょう。

〇〇することができない。

〇〇することが苦手。

〇〇で失敗してしまった。恥ずかしい。

その他、認め難い気持ちが沢山有ったとしても、その認め難い気持ちをそのまま認めて上げましょう。

「今、そんな気持ちなんだね。分かってるよ」と。

そこからスタート。

ブラウザ右上の ×ボタンで閉じる